

金沢大学法学類月報



編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト

法学類月報第 73 号では、法務研究科・岡室悠介先生のエッセイ、志賀町への出張法律相談の報告に加え、法学部時代の OB 城山真一氏からのご寄稿の 3 編です。暖冬ですが、2 月になって少しまとまった雪が降ったりして…温泉、いいですね。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 38 回 岡室悠介先生（法務研究科・憲法）

皆さんはじめまして。昨年はこちらの法科大学院で憲法を教えています、岡室と申します。今年は、法学類でも授業を担当する予定なので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は温泉巡りが好きでして、ほぼ毎週末、周辺の温泉施設へ出かけています。唐突ですが、これまでで印象に残った北陸の日帰り温泉ベスト 3 をここで紹介させていただきたいと思います。

第 3 位 三草二木 西園寺温泉（石川県小松市）

こちらは、元々お寺だった所を日帰り温泉へ改築した施設です（写真参照）。見た目もインパクトありますが、地下 750m から源泉が湧出し、一般的な塩化物泉ながら掛け流しで気持ちが良いです。また、同じく元本堂を改装した併設のカフェでは、不思議な雰囲気の中で美味しい食事できます。



第 2 位 山中温泉ゆけむり健康村 ゆーゆー館（石川県加賀市）

山中温泉のお湯は硫酸泉なので、冬場でもとても身体が良く温まります。露天風呂も広くはないのですが、なかなか風情のある感じでゆったりできます。

第 1 位 平ふれあい温泉センター ゆ〜楽（富山県南砺市）

ここは、硫酸塩泉掛け流しのお湯も文句ないのですが、何と言っても露天風呂から見える、五箇山を背景にした庄川が絶景です。晴れた日に湯船でボンヤリしていると、日々の疲れも吹き飛ば感じがします。金沢からだ結構遠いのですが、つい何度も訪れてしまいます。

皆さんも、勉強で疲れた時などに、良かったら行ってみて下さい。

志賀町への出張法律相談を実施（金沢大学法律相談所）



公認サークル「金沢大学法律相談所」では、2 月 16 日、志賀町への出張法律相談を実施しました。これは、昨年の春、金沢大学と志賀町との連携による教育研究の拠点として「志賀学舎」が開所したというニュース (<https://www.kanazawa-u.ac.jp/news/65879>) に接し、法律相談所から志賀町に実施を打診したところ、ご快諾をいただき、実現することができたものです。法律相談所として、志賀町で法律相

談を実施するのは、昭和 59 年夏の能登巡回法律相談の一環として、合併前の旧富来町で実施したものが最後となっており、およそ 35 年ぶりということになります。

今回の出張法律相談の実施に際しては、住民の皆様への広報として、町の HP、広報誌、回覧板を通じた告知、有線放送における PR ムービーの収録（学生も出演しました）・公開、防災無線でのアナウンスなど、思いつく限りのことを役場の側で展開して下さいました。結果として、当日は合計 18 件の相談をお受けすることができたこと、たいへんありがたく思います。今回の結果を踏まえて、新年度以降も継続的に出張法律相談を実施し、住民の皆様のお役に立てるよう、研鑽を重ねていきます。

（法律相談所顧問・福本知行）

小説家デビューして 5 年がたちました。その間、文学賞もいただきましたが、決して順風とはいえませんでした。筆が進まず挫折しかけたことはしょっちゅう（いや、今も）、臓器に腫瘍が複数見つかって死を覚悟したこともあり。そんな自分がなんとか小説家を名乗ってられるのは、大学で法律をかじっていたからかもしれません。最近、書下ろし新作を 2 か月連続で刊行しました。ひとつは金沢の刑務所を舞台にしたミステリー『看守の流儀』。

もうひとつは卯辰山のレストランを舞台にしたドタバタ劇『相続レストラン』。前者は、法務省が所管する刑事施設を知るために、刑事収容施設法や旧監獄法を勉強しました。後者は、ネタバレになるので詳しくは書けませんが、民法の知識をトリックや動機として存分に使いました。いずれも法律をすんなり理解して駆使できたのは、学生時代に触れていたからだと思います。年を重ねると新たなものを理解するにはそれ相応のエネルギーが必要と最近実感します。ですが若いころに少しでも触れた経験のあるものは、脳の「筋肉」が思考や理解の方法を覚えているようです。法治国家においては法律は権力そのもの。民は法に守られる半面、縛られて生きています。法の知識を持つ人間のほうが何かと有利なのは明白、

学んでおいて損はない……と偉そうに能書きを垂れそうになりましたが、学生のうちは単位取得のためと考えて知識を詰め込めむだけでいいんじゃないかなと思います。いずれ人生のどこかでなんとなく役に立っているなあと気づく場面があるはずだから。

城山真一 1995 年法学部卒業。



「看守の流儀」（宝島社）
2019 年 12 月発売
刑務官の矜持と葛藤を描くヒューマンミステリー



「相続レストラン」（角川文庫）2020 年 1 月発売
最近注目されている相続がテーマ

プロフィール

城山 真一（しろやま しんいち）

作家。七尾市生まれ。金沢市在住。

2015 年に『ブラック・ヴィーナス 投資の女神』で『このミステリーがすごい!』大賞を受賞。その後も、地方都市を舞台にした独特の切り口のエンタメ小説を続々発表。ほかに著書は「仕掛ける」（宝島社文庫）など。

法学類 P
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。
(<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/brochure/geppo>)
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。